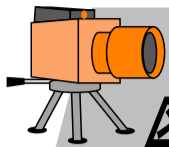


代表・一般質問



本会議の録画中継は
区議会ホームページでご覧いただけます

ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp>

区政を

人道橋の完成時期等について
【問】人道橋の設計、積算についての的期的な見解を伺う。
また、地域住民への説明会等の計画や、完成までの費用、完成時期についてどのように見込んでいるのか伺う。



【答】工事金額や整備スケジュール、地元説明会の日程は、設計委託の進捗状況を踏まえて決定していく。

【問】つくばエクスプレスが開業し、「六町駅」「青井駅」とも、今後発展が見込まれるが、駅周辺に交番がない。交番誘致の状況及び設置されるまでの安全対策について伺う。

【答】東京都及び綾瀬警察署と協議し、両駅とも、交通広場内に交番スペースを確保したが、しかし、警視庁は、空き交番対策を優先するとの見解であり、今後も誘致を働きかけていく。

また、両駅周辺では、周辺町会・自治会が夜間パトロールを実施しており、区は、活動費助成や、青色回転灯装備車によるパトロール等の支援を実施する。さらに、移動交番を設置し、朝と夕方の一一定の時間、広場内にパトカーを置き、警察官が住民の安全確保に努めている。

【問】六町区画整理事業地内の補助第140号線は、六町東交差点から環状7号線まで整備されていないため、渋滞等の原因になっている。整備予定はどのようなものか伺う。

また、六町東交差点から花畑街道までは道幅が狭く、幼稚園等もあり危険な状況である。早急な対応が必要と考えるが区の見解を伺う。

【答】浮花橋の開通に伴い、交通量が増加し、生活道路に渋滞等の交通問題が生じていることは認識している。未整備区間の六町東交差点から環状7号線までの区間約650mは、道路機能の確保として、暫定の幅員12mで、平成19年度末完了を目途に、都が整備に取り組んでいる。

また、特に危険箇所である、六町東交差点から、あおい幼稚園付近までの区間約350mについては、平成18年度末までの完了を予定している。

【問】中央教育審議会答申では、義務教育の質の保証のため、結果を検証するしくみとして、「学校評価システム」を構築し、自己評価の実施と結果公表の義務化、外部評価の充実などを掲げている。学校の説明責任や透明性の確保の観点から、評価の実施は欠かせないものと思うが、第三者評価も視野に入れ具体的などのように進めるのか伺う。



高山 延之 議員

【答】現在各学校では、学校独自の方法で内部評価、外部評価を実施している。今後は、各学

校共通の評価項目の設定、評価結果の公表の義務化、保護者や地域による外部評価の充実、専門家による第三者評価のしくみ等について学校支援委員会で検討していく。



その後、実践研究による検証を踏まえて、学校評価のしくみを構築し、学校の説明責任や透明性の確保に努めていく。

【問】足立区は、平成12年度から教育改革に取り組み、開かれた学校づくりを皮切りに、学校選択の自由化、二期制の実施、幼保園の開園等様々な取り組みを実施し、本年4月には足立区初の小中一貫教育校「興本扇学園」が開校した。新田の小中一貫教育も決定しているが、その他の学校はどのような展開を考えているのか伺う。

【答】本年4月に区内初めての小中一貫教育校として開設した「興本扇学園」の実践を検証しながら、今後は、小中一貫教育校を順次拡大していきたい。

また、興本扇学園の成果を活用して、小・中学校間の連携教育に積極的に取り組み、義務教育の9年間を通じた、子ども達の発達段階に応じたきめ細かな教育を展開していく。

【問】改定された都市計画マスタープランでは、足立区の魅力づくりを推進するため、老朽化した公的住宅や大規模敷地の土地利用転換を適切に誘導するとしている。区内にはまだ大規模な敷地が存在する。土地利用転換は、周辺に与える影響が大きいが、うまく誘導すれば地域の活性化につながると思うが、土地利用転換を契機に、地域の課題を解決できるよう取り組む必要があると思うが、どうか。

足立区議会公明党



淵上 隆 議員

【問】公的住宅の建替えや大規模な行政評価について

また、委員会の評価を5段階で行い、わかりやすく表示していく予定である。

【問】市場化テスト導入によりコスト削減とともにサービスの向上も重要である。民間導入時のサービスの水準の維持、向上をどのように評価するのか伺う。

【答】市場化テストでは、単なるコストの削減にとどまらず、サービスの向上を図ることが重要である。導入に当たってはコスト面のみではなく、サービスの水準の向上にも重点を置き、最適な事業者の選定が出来るよう実施要項を策定していく。

【問】区職員の女性比率は50%を超えているが、係長、課長以上の管理職比率で女性の比率が低いのはなぜか。

女性の意見を区政に反映するためには、女性管理職比率を高める必要があると思うが、区の

見解を伺う。
【答】昇任選考を受験する年代が子育て期間に当たる等、様々な要因が受験意欲低下を招いていると思われる。

しかし、女性の意見を反映することは男女共同参画社会を推進する上でも大変重要であり、女性管理職の比率を高め、女性の感性や能力を組織に生かしていくことが必要と考えている。

【問】足立の農産物の直売施設の認知度は「知らない」が71%もある。人が集まる場所に地場産業の直売所を開設して、地産地消の推進を積極的にすすべと思うが、区の見解を伺う。



【答】農家による直売は、地産地消の推進からも有効な方法と考えている。現在、月1回のJA足立支店での直売や、区内9箇所の農家で定期的な直売を行っている。区も、これらをPRするとともに、人が集まるイベント等への出店を積極的に支援し、地産地消に取り組んでいく。子育て支援について

【問】子ども医療費は、本年4月より小学校3年生までの入院医療費が無料になった。以前から我が党が要望しているとおり、平成19年度から中学3年生までの入院医療費を無料にするとともに、通院医療費についても中